



山登如

## 2022年度 付中通信第1号

# 努力は報われるのか

2022.4.11

高水高等学校附属中学校長 宮本 剛

去る3月14日に六年制普通科では恒例の受験報告会が開催されました。会場には、大学受験を乗り越えたばかりの7名の卒業生が招かれ、合格を勝ち取るまでの道のりについて、一人ずつ在校生に話をしてくれました。

受験報告会の様子



そこで私がまず頼もしいと感じたのは、話す態度や話しぶりでした。6カ年一貫課程の中で彼らはプレゼンやコミュニケーションの機会を豊富に与えられてきました。人前でちゃんと話せるスキルを身につけていること一つとっても、我が校の教育

の成果を汲み取ることができました。校長として誇らしい限りでした。

実は、毎年、この会に出席してなるほどと思い、誰かに話してみたいかなることがあります。それは、一つの目標を叶えるために自分に与えられた能力を自覚し、それを高める努力をひときわ重ねた者に共通して現れるものについてです。少なくとも、今年この会場に招かれた者たちにも、それは共通していました。彼らは、必ず一家言を持ってやって来るといことです。

たとえばこう。「努力は報われるか？それはタイミングの問題なのだ」と彼は言いました。「努力は報われると人は言うけど、『報われない努力だったかもしれない』と北京五輪であの羽生結弦選手だって言ってました。でも自分も含めて、タイミングがよかつたらきっと報われていたはずなんです。運とかじゃない、努力の結果を一瞬のうちに判断するのは間違っていると思います」自分は受験に失敗したと語る彼は、冷静にそんなふうに受験時代を総括していました。なんとという名言！

私自身にも受験時代はありました。私もまた第1志望は不合格となり、その大学での新しい生活を夢見ていたので、心の支えがぽっきり折れてしまい、ふさぎ込んでし

まった経験があります。これ以上はできない、そんな努力だったからこそ、うまくいかなかった時のショックは並大抵ではありません。しかし、今はそれでよかったと思えます。滑り止めと考えていた大学で過ごせたからこそ、今の自分がある。それはなかなか尊いことで、一度きりの人生においては、きわめて大事な思いです。

努力は報われるためにするものだけど、その時報われなかったとしても、やがて何かの形で都合よくその報いは帰ってくる。タイミングはこちらの都合であって、努力はそのままずっとその人を支えていってくれるから、何も心配することはありません。



令和4年度入学式に咲いたチューリップ